



1



## ●ミニフォト

水は貴重な資源



非常用給水袋に水を入れる

「命と暮らしをささえる水」をテーマに、阿曾小学校と総社小学校で水道出前講座が行われました。阿曾小では7月3日、4年生24人が給水車による応急給水や漏水調査を体験。改めて水の大切さを学んでいました。

## 生涯スポーツで親睦



よく狙って

高齢者の健康保持や親睦などを目的に6月26日、総社市長杯ペタンク大会が市スポーツセンター多目的広場で開催されました。市内24チーム74人が参加。西坂台なごみの会Bチームが総合優勝しました。

①神田での赤米の田植え  
②相川七瀬さんと新本小学校5年生  
ズする新本小5年生

## 赤米の伝統を今に受け継ぐ

### 新本本庄国司神社赤米田植え神事

6月19日、新本本庄国司神社の神田で赤米の田植えが行われました。

総社赤米大使の歌手、相川七瀬さんと新本小学校5年生9人は、豊作と安全を祈願した後、地元の赤米保存会のメンバーの指導のもと、一株一株を丁寧に植え付けていました。

## 外国人にやさしく



身近な防災について学ぶ

総社市で暮らす外国人のための「暮らし方教室」が6月19日、市保健センターで始まりました。初回は4カ国の15人が参加。毎月第3水曜日に開催し、日常生活に必要なルールやマナー、日本の文化や習慣を学びます。

## 貴重な植物や昆虫を観察



モウセンゴケの花を見つける

6月28日、総社北小学校の6年生28人がヒイゴ池湿地で観察会を行いました。ハッチョウトンボやモウセンゴケ、カキランなどを観察。同小では、毎年6年生が同湿地を訪れ、環境保全の大切さを学んでいます。

## 絶対火事は起こさない



かっこいい消防車

総社市防火協会設立45周年を記念してミニ消防車が寄贈され、6月25日に市消防庁舎でお披露目式が行われました。5人乗りのゴルフカートを改造したもので、小学生や幼年消防クラブの防火教育などに活用されます。

## 社会を明るくする運動



最優秀標語の受賞者

“社会を明るくする運動”総社市推進大会が7月2日、総合福祉センターで開催されました。最優秀標語の表彰のほか、パンフルート奏者の今井勉さんが講演。約70人の参加者は、誰もが明るく暮らせる社会について考えていました。

## みんなに愛されるコースに

### ちゅっぴーロードウォーキング

市内中心部を周回するウォーキングコース「ちゅっぴーロード」の完成を記念して7月16日、ウォーキングイベントが開催されました。

参加したのは、市内17の地域づくり協議会関係者や“歩得”健康商品券事業参加者ら160人。コースに設置された18の石盤デザインを巡るウォークラリーに挑戦し、楽しみながら汗を流していました。



石盤デザインを確認しながらウォーキング



参加者に小学校カレーのプレゼント

## お仕事がんばります

### チュッピーのお仕事伝達式

市のイメージキャラクター「チュッピー」のますますの活躍を期待して、7月1日に市役所でお仕事伝達式が行われました。

新たな仕事として伝達されたのは、子どもたちのふれあい活動やYouTuberとしての情報発信、総社市のPRなど7項目。

これまでも「子育て王国そうじゃ」推進のため活動してきたチュッピー。情報発信に活躍の場を広げ、元気なまちづくりに向けてがんばりたいと意気込みを見せました。



お仕事を伝達され、やる気のチュッピー

## 市街地のオアシス



水しぶきに歓声

6月20日、市役所南交差点にある「まちかどの泉」の夏開き式が行われました。総社南幼稚園児27人と近隣住民らが参加。園児は、待ちに待った噴水の再開に歓声を上げ、冷たい水の感触を楽しんでいました。

## 体を動かすって楽しい



じゃんけんゲームで触れ合う

スポーツで親睦を深めてもらおうと6月16日に、昭和小学校で昭和地区ふれあいスポーツ祭りが開催されました。昭和地区の住民約150人が参加。レクリエーションや分館対抗のディスコンなどを楽しんでいました。

## 大きく育て赤米



横一列で苗を植える

備中国分寺前の水田で、6月29日に赤米の田植えが行われました。平成25年から始まり今年で7回目。参加した親子連れ約120人は、慣れないぬかるみに足をとられながらも、豊作を願って一生懸命苗を植えていました。